

## ●株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月に開催  
株主確定日 ①定時株主総会 毎年3月31日  
②期末配当金 毎年3月31日  
③中間配当金 毎年9月30日  
なお、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日を株主確定日といたします。

公告方法 電子公告により当社ホームページ (<http://www.shiroki.co.jp>) に掲載いたします。  
(なお、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることが出来ない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 〒100-8212  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
(郵便物送付先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
フリーダイヤル：0120-232-711

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のフリーダイヤル（自動応答）およびインターネットでも24時間承っております。  
フリーダイヤル：0120-244-479  
アドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>  
上場証券取引所 東京・名古屋（市場第1部）〔証券コード：7243〕  
単元株式数 1,000株

第90期

# 報告書

平成18年4月1日から  
平成19年3月31日まで



当社の企業情報はホームページでもご提供しております。



アドレス：<http://www.shiroki.co.jp>

[主要なコンテンツ]

- IR情報
- 会社案内
- 製品紹介
- ニュース リリース



シロキ工業株式会社



# Top Message

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社グループの第90期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、その概要につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度における自動車業界は、ガソリン高を背景に、軽自動車为好調に販売を伸ばし、過去最高を更新いたしました。しかしながら、軽自動車と競合する小型乗用車が大きく販売を減らしたため、国内新車販売は前期比4.1%減となり、21年ぶりの低水準を記録いたしました。一方、輸出は海外現地生産シフトが加速するアジア向けが減少したものの、北米、ヨーロッパ向けなどを中心に好調に推移し、高水準を維持いたしました。この結果、国内生産は旺盛な輸出にけん引され、堅調に推移いたしました。また、海外では低燃費の日本車人気を背景に、北米、ヨーロッパなどで好調に販売を伸ばし、海外生産もアジア、ヨーロッパなどで拡大いたしました。

こうした経営環境のなか、当社グループは、昨年創立60周年の節目を迎え、経営理念・経営方針を昨年11月に刷新し、更なる成長への進むべき道を示すとともに、グローバル展開に伴うシロキブランドの一層の向上と定着化をはかるため、北米3社についても「シロキ」を使用した社名に変更いたしました。また、高機能・高品質・低コストに加え、海外対応できる「世界No.1の魅力ある製品づくり」に取り組むとともに、北米・中国・タイを中心としたグローバル生産・供給体制の確立を加速してまいりました。

### 【国内事業】

九州シロキ株式会社（北九州市）が、第2工場の本年5月本格稼働に向けて、主力のウインドレギュレータの新規生産準備を開始するなど、九州地区における得意先自動車メーカーの生産増と新規受注に対応するとともに、2工場体制による生産の効率化を進めてまいりました。また、シロキ商事株式会社（安城市）が、昨年7月会社分割を行い、「シロキクリエイトサービス株式会社」（豊川市）を新設し、グループ経営の効率化を進めてまいりました。

### 【海外事業】

#### （北 米）

昨年12月にシロキ GA LLC（ジョージア州）は工場を拡張し、また北米第3工場のシロキ GT LLC（テネシー州）も本年3月より操業を開始するなど、好調な日系自動車メーカーの生産増と新規受注に対応するとともに、北米3工場のそれぞれの立地を活かす受注活動を展開してまいりました。また、全社的に生産準備に取り組んだ現地日産自動車株式会社の北米最大級の量産車種「アルティマ」向けドアサッシの生産が昨年9月より始まるなど、生産体制強化とともに新規拡販にも取り組み、北米事業強化に注力してまいりました。

#### （中 国）

広州白木汽車零部件有限公司（広州市）が、昨年5月トヨタ自動車株式会社の広州現地生産開始に伴い、ドアサッシとモールディングの増産およびウインドレギュレータの新規生産を開始いたしました。また、今後の現地日系自動車メーカーの生産増と新規受注に対応するため、昨年11月敷地内に第2工場増設を着手するなど、中国・華南地区を基盤とした生産体制と事業基盤強化に取り組んでまいりました。

#### （タ イ）

シロキタイランド株式会社（チョンブリ県）が、現地トヨタ自動車株式会社の国際戦略車「IMV」の生産増などに引き続き対応するとともに、昨年6月より、新たな主力製品としてドアサッシを生産委託により現地日産自動車株式会社に納入を開始するなど、事業基盤強化に取り組んでまいりました。

#### （その他）

インドではウインドレギュレータの技術供与を行っている現地自動車部品メーカーのテクニコインダストリーズ株式会社（ハリアナ州）への資本出資を本年2月に決定し、提携先との関係強化をはかりました。

こうした結果、当連結会計年度の業績につきましては、各自動車メーカーの輸出好調に伴う国内生産の増加のほか、世界を視野に入れた受注活動や新製品開発などの効果などにより、売上高は1,335億9百万円（前期比8.5%増）となりました。また、利益につきましては、徹底した合理化活動による収益改善に努め、営業利益は31億8千2百万円（前期比57.6%増）、経常利益は31億8千9百万円（前期比6.9%増）となり、当期純利益は16億1千2百万円（前期比32.0%増）となりました。

### 今後の課題

国内新車販売は新型車投入や積極的な拡販活動により巻き返しが期待される反面、ガソリン価格の高止まりの影響や消費の多様化などにより、本格的な回復には至らないものと思われれます。一方、国内生産は輸出好調に支えられ、堅調に推移するものの、中期的には海外現地生産が拡大し、国内生産は減少するものと予想されます。

このような状況下、当社グループといたしましては、“次”に備え、利益構造の再構築に大胆に取り組んでまいります。まず、製品構成のあり方を見直し、従来の機械部品に加え、電子部品に対応した高付加価値化と国際競争力のあるメカトロニクス部品（機械部品と電子部品を統合した部品）やシステム部品などの新製品開発を強化してまいります。また、グローバルな視点から国内生産体制を見直し、生産の高効率化をはかったシャープでスリムな生産体制を構築すべく、生産品目の内外製見直しと、生産拠点の再編を進めてまいります。

当社グループにおきましては、本年は“次の70周年”に向けて新たな成長戦略を展開する重要なスタートの年となります。当社グループとしましては、グローバルサプライヤーとして心を新たにして、“新しい10年”に向けて、総力をあげて世界競争に勝ち抜いてまいりる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月



取締役社長

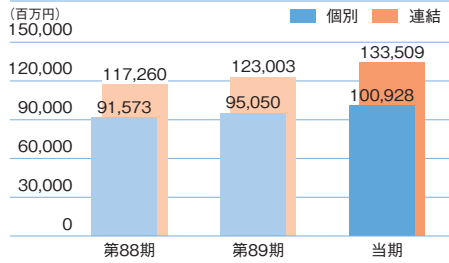
伊地知 健一郎



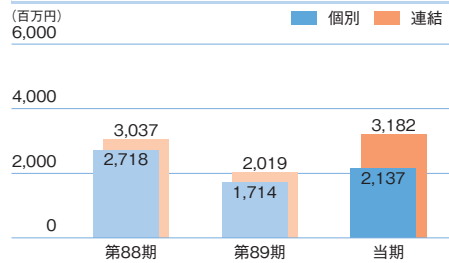
# Financial Data

## 財務データ

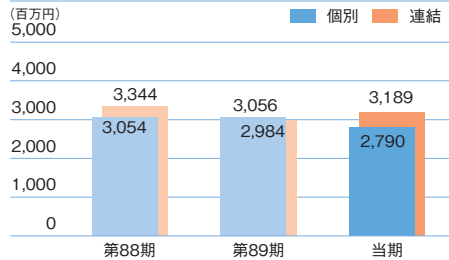
### 売上高の推移



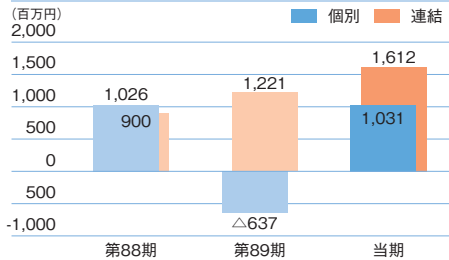
### 営業利益の推移



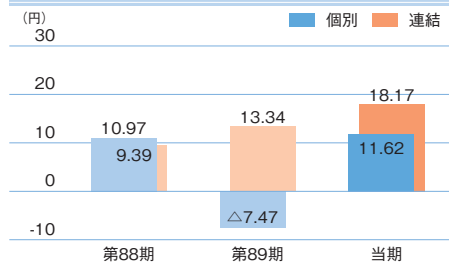
### 経常利益の推移



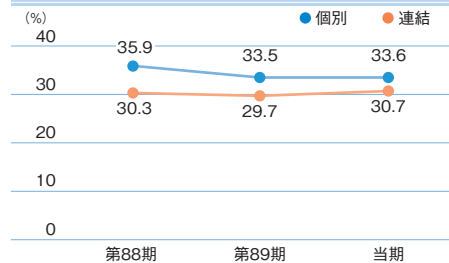
### 当期純利益の推移



### 1株当たり当期純利益の推移



### 自己資本比率の推移



# Our Products

## 製品紹介



ドアサッシ

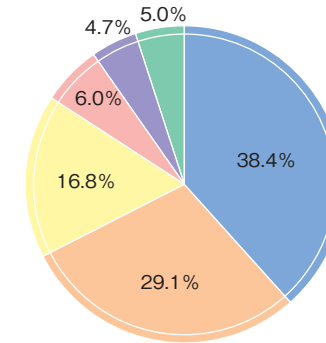


ロック&ヒンジ



モールディング

### 製品別売上高比率 (連結)



シートクライナ・シートアジャスタ



ウインドレギュレータ



## TOPICS

### 北米生産拠点の能力増強

昨年12月、シロキ GA LLC (ジョージア州) の工場拡張工事が完了し、ドアサッシの増産体制を整えるとともに、本年3月には北米第3工場のシロキ GT LLC (テネシー州) が操業開始するなど、現地日系自動車メーカーの生産拡大に対応すべく、北米生産能力の増強に取り組みました。



シロキ GT LLCの開所式



工場を拡張したシロキ GA LLC



# Consolidated Financial Statements

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当 期 (平成19年3月31日)	前 期 (平成18年3月31日)	科目	当 期 (平成19年3月31日)	前 期 (平成18年3月31日)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	38,168	35,946	流動負債	33,863	49,647
現金及び預金	6,428	6,013	支払手形及び買掛金	22,289	22,030
受取手形及び売掛金	24,670	22,381	短期借入金	3,308	6,666
たな卸資産	3,560	3,890	一年以内返済の長期借入金	78	14,181
前払費用	159	156	未払金	1,132	437
繰延税金資産	678	691	未払消費税等	209	189
未収入金	1,717	1,720	未払法人税等	730	543
その他	961	1,098	未払費用	2,160	2,059
貸倒引当金	△ 7	△ 6	賞与引当金	1,229	1,209
固定資産	47,604	46,902	役員賞与引当金	61	-
有形固定資産	38,921	37,888	設備関係支払手形	12	10
建物及び構築物	6,959	7,286	設備未払金	2,166	1,771
機械装置及び運搬具	19,710	20,171	その他	485	547
工具器具及び備品	4,996	4,965	固定負債	25,493	8,517
土地	3,111	3,153	長期借入金	17,920	623
建設仮勘定	4,144	2,311	退職給付引当金	6,278	6,303
無形固定資産	888	1,033	役員退職慰労引当金	174	195
投資その他の資産	7,795	7,980	繰延税金負債	50	38
投資有価証券	1,617	1,518	長期未払金	1,063	1,351
長期貸付金	640	510	その他	5	5
繰延税金資産	5,313	5,424	負債合計	59,356	58,164
その他	585	743	(少数株主持分)		
貸倒引当金	△ 362	△ 216	少数株主持分	-	48
資産合計	85,773	82,849	(資本の部)		
			資本金	-	7,460
			資本剰余金	-	9,699
			利益剰余金	-	7,255
			株式等評価差額金	-	390
			為替換算調整勘定	-	△ 116
			自己株式	-	△ 52
			資本合計	-	24,636
			負債・少数株主持分及び資本合計	-	82,849
			(純資産の部)		
			株主資本	25,704	-
			資本金	7,460	-
			資本剰余金	9,699	-
			利益剰余金	8,609	-
			自己株式	△ 63	-
			評価・換算差額等	642	-
			その他の有価証券評価差額金	452	-
			為替換算調整勘定	189	-
			少数株主持分	69	-
			純資産合計	26,416	-
			負債純資産合計	85,773	-

(注) 当期(第90期)より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」を適用しております。

### 連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当 期 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)	前 期 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)
売上高	133,509	123,003
売上原価	119,090	110,234
売上総利益	14,418	12,769
販売費及び一般管理費	11,236	10,749
営業利益	3,182	2,019
営業外収入		
受取利息・配当金	104	41
為替差益	183	816
設備売却益	254	212
その他	196	237
営業外費用		
支払利息	435	225
持分法による投資損失	146	77
その他	150	41
経常利益	732	344
特別利益	3,189	2,984
工場立地助成金	6	14
貸倒引当金戻入益	39	0
製品補償費戻入益	71	-
その他	6	14
特別損失	123	29
固定資産売却損	141	-
固定資産除却損	380	127
減損損失	183	704
子会社整理損	-	183
たな卸資産評価損	-	114
たな卸資産廃却損	-	169
退職給付費用	-	15
その他	27	222
税金等調整前当期純利益	732	1,537
法人税、住民税及び事業税	2,580	1,476
法人税等調整額	924	727
少数株主利益(△は少数株主損失)	34	△ 421
当期純利益	8	△ 50
当期純利益	1,612	1,221

### 連結株主資本等変動計算書(要旨)

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円未満切り捨て)

	株主資本				評価・換算差額等 評価・換算差額等合計	少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式				
平成18年3月31日残高	7,460	9,699	7,255	△ 52	24,361	274	48	24,684
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 221		△ 221			△ 221
役員賞与			△ 36		△ 36			△ 36
当期純利益			1,612		1,612			1,612
自己株式の取得				△ 11	△ 11			△ 11
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						367	21	389
連結会計年度中の変動額合計	-	-	1,354	△ 11	1,343	367	21	1,732
平成19年3月31日残高	7,460	9,699	8,609	△ 63	25,704	642	69	26,416



# Non-Consolidated Financial Statements

## 個別財務諸表

### 貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当 期 (平成19年3月31日)	前 期 (平成18年3月31日)	科目	当 期 (平成19年3月31日)	前 期 (平成18年3月31日)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	31,368	29,530	流動負債	27,531	42,834
現金及び預金	2,719	3,416	支払手形	9	22
受取手形	2,089	1,011	買掛金	18,617	18,375
売掛金	19,312	17,451	短期借入金	2,000	5,004
製品	557	759	一年以内返済予定の長期借入金	-	14,000
原材料	781	748	未払金	396	378
仕掛品	490	573	未払消費税等	179	152
貯蔵品	13	3	未払費用	1,257	1,251
前払費用	104	83	未払法人税等	682	527
繰延税金資産	609	627	預り金	105	62
未収入金	2,714	2,966	賞与引当金	1,114	1,091
短期貸付金	1,964	1,868	役員賞与引当金	51	-
その他の流動資産	12	19	設備関係支払手形	12	10
<b>固定資産</b>	<b>45,885</b>	<b>45,476</b>	設備未払金	2,421	1,957
有形固定資産	27,409	27,247	その他	682	0
建物	3,839	3,770	固定負債	23,786	7,063
構築物	566	597	長期借入金	17,000	-
機械及び装置	13,605	14,622	退職給付引当金	6,184	6,218
車両及び運搬具	11	8	役員退職慰労引当金	167	189
工具器具及び備品	4,089	4,743	その他	435	655
土地	2,472	2,547	負債合計	51,317	49,898
建設仮勘定	2,824	956	<b>(資本の部)</b>		
無形固定資産	849	983	資本金	-	7,460
投資その他の資産	17,625	17,245	資本剰余金	-	9,699
投資有価証券	679	677	資本準備金	-	9,699
関係会社株式	6,522	5,301	利益剰余金	-	7,698
関係会社出資金	1,324	1,126	利益準備金	-	1,327
従業員長期貸付金	135	162	任意積立金	-	5,111
関係会社長期貸付金	6,182	6,871	圧縮記帳積立金	-	55
長期前払費用	1	2	別途積立金	-	5,055
繰延税金資産	4,806	4,878	当期末処分利益	-	1,259
その他	467	501	株式等評価差額金	-	303
投資損失引当金	△ 2,141	△ 2,089	自己株式	-	△ 52
貸倒引当金	△ 352	△ 184	資本合計	-	25,109
資産合計	77,253	75,007	負債・資本合計	-	75,007
			<b>(純資産の部)</b>		
			株主資本	25,578	-
			資本金	7,460	-
			資本剰余金	9,699	-
			資本準備金	9,699	-
			利益剰余金	8,482	-
			利益準備金	1,327	-
			その他利益剰余金	7,154	-
			圧縮記帳積立金	46	-
			別途積立金	5,055	-
			繰越利益剰余金	2,052	-
			自己株式	△ 62	-
			評価・換算差額等	357	-
			その他有価証券評価差額金	357	-
			純資産合計	25,935	-
			負債純資産合計	77,253	-

(注) 当期(第90期)より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」を適用しております。

### 損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科目	当 期 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)	前 期 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)
売上高	100,928	95,050
売上原価	89,267	84,272
売上総利益	11,661	10,777
販売費及び一般管理費	9,523	9,062
営業利益	2,137	1,714
営業外収益		
受取利息・配当金	349	239
為替差益	88	582
ロイヤリティ	449	365
その他の収益	202	338
営業外費用		
支払利息	276	145
その他	161	38
経常利益	2,790	3,056
特別利益		
貸倒引当金戻入益	2	298
製品補償費戻入益	71	-
その他	3	1
特別損失		
投資損失引当金繰入額	52	2,089
減損損失	176	498
子会社整理損	-	241
たな卸資産廃却損	22	157
たな卸資産評価損	-	113
固定資産除却損	379	88
固定資産売却損	141	-
貸倒引当金繰入額	170	-
その他	3	183
税引前当期純利益(△損失)	1,922	△ 14
法人税、住民税及び事業税	836	669
法人税等調整額	54	△ 46
当期純利益	1,031	△ 637

### 株主資本等変動計算書(要旨) (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円未満切り捨て)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成18年3月31日残高	7,460	9,699	7,698	△ 52	24,805	303	25,109
事業年度中の変動額							
圧縮記帳積立金の取崩し			-		-		-
剰余金の配当			△ 221		△ 221		△ 221
役員賞与			△ 25		△ 25		△ 25
当期純利益			1,031		1,031		1,031
自己株式の取得				△ 10	△ 10		△ 10
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						53	53
事業年度中の変動額合計	-	-	783	△ 10	772	53	826
平成19年3月31日残高	7,460	9,699	8,482	△ 62	25,578	357	25,935



## 株式の状況（平成19年3月31日現在）

### ①株式の状況

発行済株式の総数 89,003,624株（自己株式240,411株含む）  
株主数 6,886名

### ②大株主の状況（上位10名）

①東京急行電鉄株式会社	25,422千株 (28.56%)	⑥シロキ工業持株協会	2,150千株 (2.42%)
②トヨタ自動車株式会社	15,067千株 (16.93%)	⑦株式会社豊栄商会	2,130千株 (2.39%)
③日本ラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,889千株 (4.37%)	⑧日本生命保険相互会社	1,922千株 (2.16%)
④三菱UFJ信託銀行株式会社	3,559千株 (4.00%)	⑨ザチューズマンハッタンバンクエスイ ロンドンエスエルオムニバスアカウント	1,651千株 (1.85%)
⑤日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,952千株 (3.32%)	⑩シロキ工業従業員持株会	1,492千株 (1.68%)

(注) ( ) 内は持株比率を表示しております。

## 役員 の 状況（平成19年6月29日現在）

代表取締役社長	伊地知 舜一郎	取締役	大石 勝美
代表取締役専務	橋 間 義 郎	取締役	河 本 正
専務取締役	杉 山 森 夫	取締役	坂 部 威 夫
常務取締役	佐 野 良 夫	取締役	上 條 清 文
常務取締役	後 藤 和 行	取締役	鈴 木 克 久
常務取締役	小 橋 賢 司	常勤監査役	大 城 英 行
常務取締役	佐 竹 史 郎	常勤監査役	古 川 俊 雄
取締役相談役	木 場 軍 司	監査役	豊 田 章 男
取締役	大 橋 敦 志	監査役	山 田 匡 通

(注) 1. 取締役のうち、上條清文および鈴木克久の両氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役のうち、古川俊雄、豊田章男および山田匡通の各氏は、社外監査役であります。

## 配当金を現金にて受領されている株主様へ

### 配当金の口座振込のおすすめ

株主様ご指定の金融機関（銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農業協同組合）の預金口座または郵便貯金口座にて直接配当金をお受け取りいただけます。

この方法を採用されますと、それ以後はご指定の口座にて自動的に配当金をお受け取りいただけますので、ご利用されることをおすすめいたします。

ご変更手続き用紙のご請求ならびにご不明な点は下記までご照会下さいますようお願い申し上げます。

### お問い合わせ先

〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル：0120-232-711（土・日・祝祭日を除く 9:00～17:00）

アドレス：<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

配当金振込指定書等の各種お手続き用紙のご請求

フリーダイヤル：0120-244-479 音声自動応答（24時間受付）